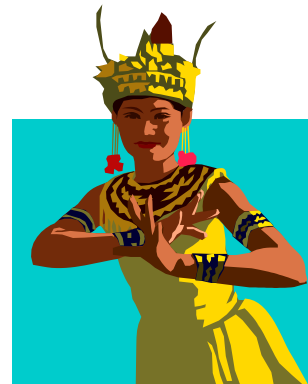
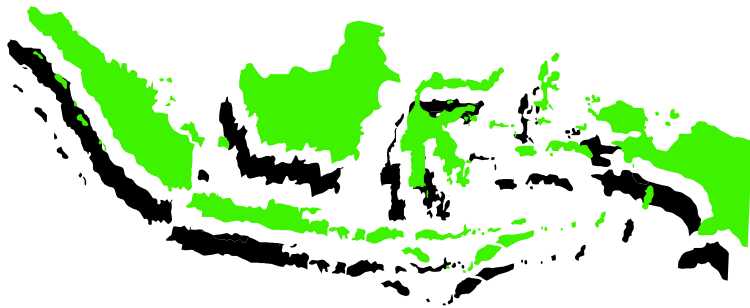
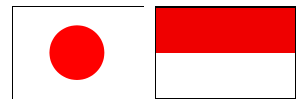


日本では難しいが インドネシア では実現出来ること





自己紹介



- 1975/4～1981/6 ヤマハ(株)入社 インドネシア工場立上支援分野配属
- 1981/6～1987/3 インドネシア工場生産課長 電子鍵盤楽器の組立生産
- 1987/3～1995/7 インドネシア工場長 電子楽器、ピアノ、ギターの輸出拠点化
- 1995/7～2005/3 帰国、インドネシアを普及品の生産拠点化するプロジェクト
- 2005/3～現在 ヤマハ退職、インドネシア進出サポートコンサルタントとして独立
インドネシア語翻訳通訳

静岡大学客員教授、専修大学客員講師

独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)専門家

独立行政法人 中小企業基盤整備機構アドバイザー

一般社団法人海外事業支援センター(OBAC)アドバイザー

一般財団法人海外産業人材育成協会(AOTS)講師

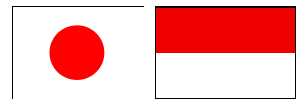
一般社団法人日本インドネシアビジネス協会(ABJI)理事

などを経歴し、これまでのインドネシア進出支援企業数は約100社

インドネシアとの
関わりも52年
になりました



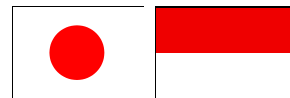
セミナー要旨



- 経済成長の要件は資本、技術、労働力、資源、市場であると言われてしています。
- 日本とインドネシアの両国は互いに親和性の高い国ですが、上記の各要件においては、対極に位置する関係であるとも言えます。
- このことは、色々な事業分野において、補完的な効果が見込まれる可能性が高いことを意味します。
- このセミナーでは、今日の日本では事業化が難しい分野でも、インドネシアでは実現出来ると思われることを探して見ます。



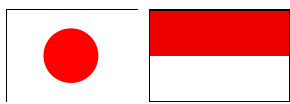
目次



1. 労働集約型産業
2. ものづくり伝授
3. ハラル商品生産・輸出
4. リチウムイオン電池
5. 木工加工製品
6. 天然ゴム製品
7. 椰子殻バイオ燃料
8. 他島間のドローン輸送
9. 発電エネルギー多元化
10. 植物の通年栽培



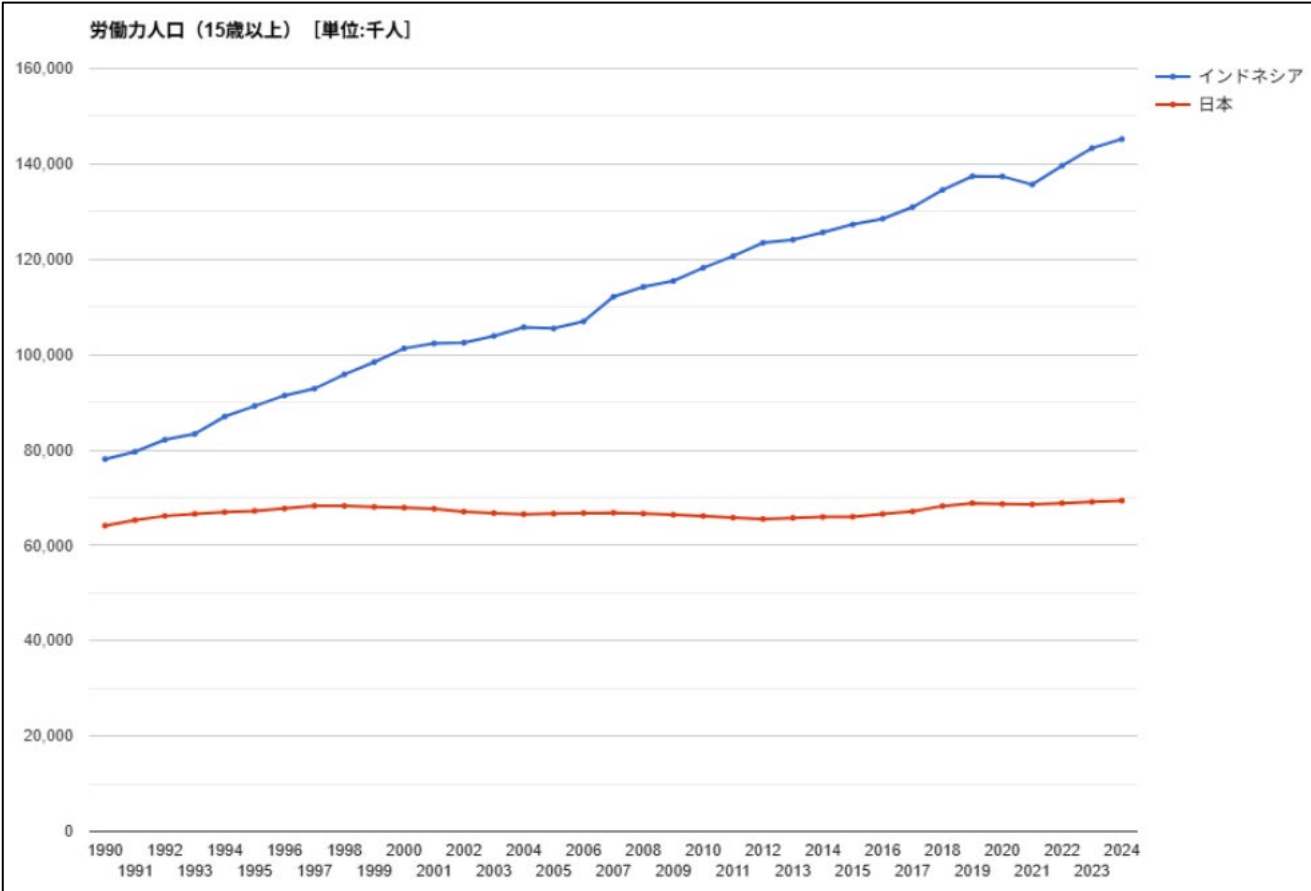
1. 労働集約型産業



- 2026年の最低賃金は全国平均は31,578円で、日本の約1/6程度です。
- 労働人口は今後も増え続けると見込まれ、2024年は日本の約2倍の145百万人でした。
- 労働集約型産業の筆頭的産業であった煙草業界も、昨今は機械化や自動化に取り組んでいますが、今後も暫くは労働集約型産業にとっては有利な事業環境と言えます。
- 完全失業率5%、非完全失業率30%と言う雇用問題も、労働集約型産業にとっては追い風です。

表 2026年インドネシア各州における最低賃金及び適正生活必要水準

NO	州	地域	最低賃金 (UMP)		
			IDR	JPY	前年比
1	アチェ州	スマトラ	3,932,552	35,392	6.70%
2	北スマトラ州	スマトラ	3,228,949	29,060	7.90%
3	西スマトラ州	スマトラ	3,182,955	28,646	6.30%
4	リアウ州	スマトラ	3,780,495	34,024	7.74%
5	ジャンビ州	スマトラ	3,471,497	31,243	7.33%
6	南スマトラ州	スマトラ	3,942,963	35,486	7.10%
7	ベンクル州	スマトラ	2,827,250	25,445	5.89%
8	ランタン州	スマトラ	3,047,734	27,429	5.35%
9	パンカピリトン諸島州	スマトラ	4,035,000	36,315	4.09%
10	リアウ諸島州	スマトラ	3,879,520	34,915	7.06%
11	ジャカルタ首都特別州	ジャワ	5,729,876	51,568	6.17%
12	西ジャワ州	ジャワ	2,317,601	20,858	5.77%
13	中部ジャワ州	ジャワ	2,327,398	20,946	7.28%
14	ジョグジャカルタ特別州	ジャワ	2,417,495	21,757	6.78%
15	東ジャワ州	ジャワ	2,446,880	22,021	6.11%
16	バンテン州	ジャワ	3,100,881	27,907	6.74%
17	バリ州	バリ	3,207,459	28,867	7.04%
18	西サトウガラ州	サトウガラ	2,673,861	24,064	2.73%
19	東サトウガラ州	サトウガラ	2,455,898	22,103	5.45%
20	西カリマンタン州	カリマンタン	3,054,552	27,490	6.12%
21	中部カリマンタン州	カリマンタン	3,686,138	33,175	6.12%
22	南カリマンタン州	カリマンタン	3,725,000	33,525	6.54%
23	東カリマンタン州	カリマンタン	3,762,431	33,861	5.12%
24	北カリマンタン州	カリマンタン	3,775,243	33,977	5.45%
25	北スラウェシ州	スラウェシ	4,002,630	36,023	6.02%
26	中部スラウェシ州	スラウェシ	3,179,565	28,616	9.08%
27	南スラウェシ州	スラウェシ	3,921,088	35,289	7.21%
28	東南スラウェシ州	スラウェシ	3,306,496	29,758	7.58%
29	ゴロンタロ州	スラウェシ	3,405,144	30,646	5.69%
30	西スラウェシ州	スラウェシ	3,315,934	29,843	6.81%
31	マルク州	マルク	3,334,490	30,010	6.14%
32	北マルク州	マルク	3,510,240	31,592	3.00%
33	西バブア州	バブア	3,841,000	34,569	6.25%
34	南西バブア州	バブア	3,766,000	33,894	4.21%
35	バブア州	バブア	4,436,283	39,926	3.51%
36	南バブア州	バブア	4,508,100	40,572	5.19%
37	中部バブア州	バブア	4,285,848	38,572	0.00%
38	山岳バブア州	バブア	4,508,714	40,578	5.20%
中央値			3,490,869	31,417	6.13%
平均値			3,508,714	31,578	5.91%

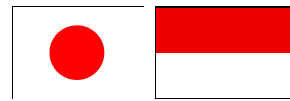


出典: JETRO ビジネス短信

資料: GLOBAL NOTE 出典: ILO



2. ものづくり伝授



- 世界に誇る日本の“ものづくり”文化は、1990年前後のバブルを境に、次第に廃れつつあります。
- 主な原因としては、日本のものづくり人材育成の前提であった、終身雇用と年功序列が廃止され、正規社員から派遣社員への移行が進んだことが考えられます。
- この状況が30年以上続いたことで、日本のものづくりを支えて来た職人技が、次の世代に受け継がれること無く、どれほど多く消え去ってしまったか、ものづくりに携わって来た日本人の一人として、考えるだけでも悲しくなります。
- 幸い私の場合は、非常に親日的なインドネシア人の若者達に救われました。
- 日本人とインドネシア人では、言葉、文化、宗教、歴史、教育などが異なるため、日本人に受け継ぐようには行きませんが、実際に教え込んだ職人達からは、**95点以上の評価**を得ることが出来ました。
- 日本の雇用環境が昔に戻らない限り、これからも暫くはインドネシア人に日本のものづくりを伝える必要があるようです。



重厚長大ではなく軽薄短小



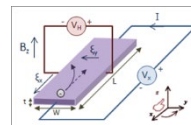
五感を研ぎ澄ませ



5Sの対象を間違えるな



見えない所への気配り



専門書からの科学的理論



異分野への好奇心



言葉ではなくやって見せる



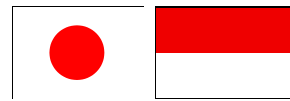
与えられた作業環境を受け入れる



子供が玩具であそぶように



3. ハラル商品生産・輸出

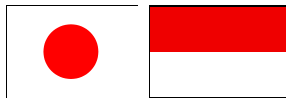


- 世界の総人口に占めるイスラム教徒の数は25%に及びます。
- それらの多くは世界人口および経済力の50%を占める、グローバルサウスと呼ばれるグループに属しています。
- インドネシアはこれらグローバルサウスの、東の玄関口に位置しています。
- インドネシアは世界最大のイスラム教徒を抱える国であり、2026年10月からは全ての食品、医薬品、化粧品製造と販売に対して、[ハラル認証](#)が義務化されます。
- ハラル認証とは、豚肉を使った食品や酒類だけと、多くの日本人は理解していますが、実際は遥かに厳しい規則です。
- 豚肉だけでなくその成分を含む全ての材料、そして豚肉以外であっても、イスラムの戒律に則り屠殺された食肉でなくてはなりません。
- 屠殺から消費者に至る全てのプロセスにおいて、ハラルではない、ハラムと称される材料が保管、加工、消費される現場と接点があってはならないとされます。
- ハラルとは縁遠い日本において、ハラル商品を製造し、イスラム市場に輸出することは大変な努力を要するので、インドネシアを**代替製造輸出拠点**にすることが有利です。

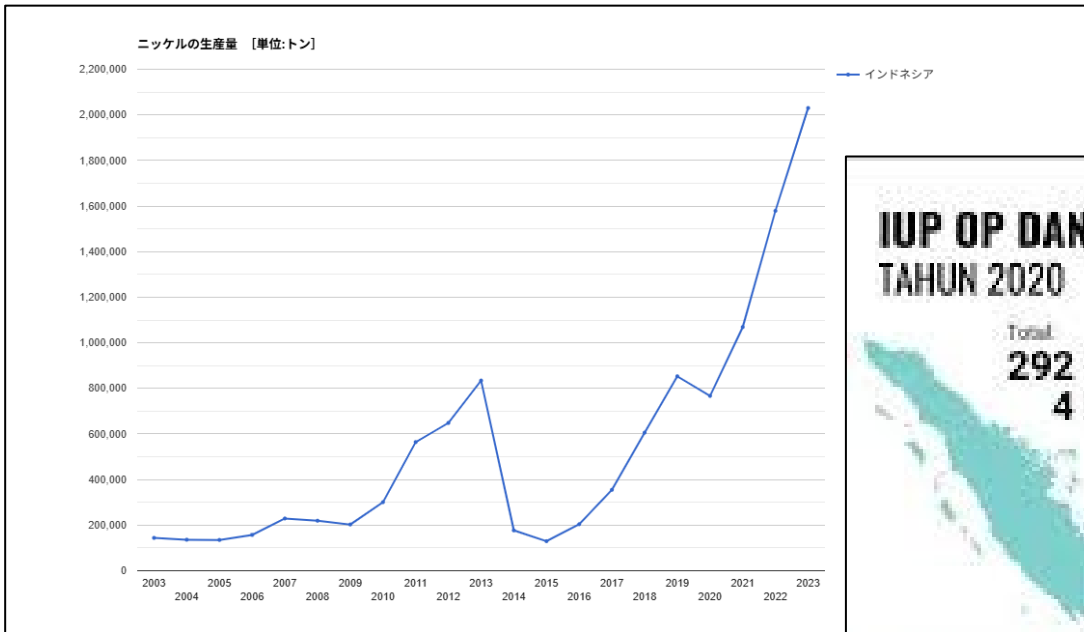




4. リチウムイオン電池



- 2023年のリチウムイオン電池の原料となるニッケルの生産量の、インドネシアは全世界の54%を占めています。
- スラウェシ島を中心に、10社以上のニッケル採掘会社が稼働しており、西ジャワ州にあるいくつかのリチウムイオン電池生産工場に電池の原料を供給し、主に電気自動車用のバッテリー製造に充てられています。

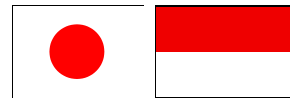


資料: GLOBAL NOTE 出典: USGS

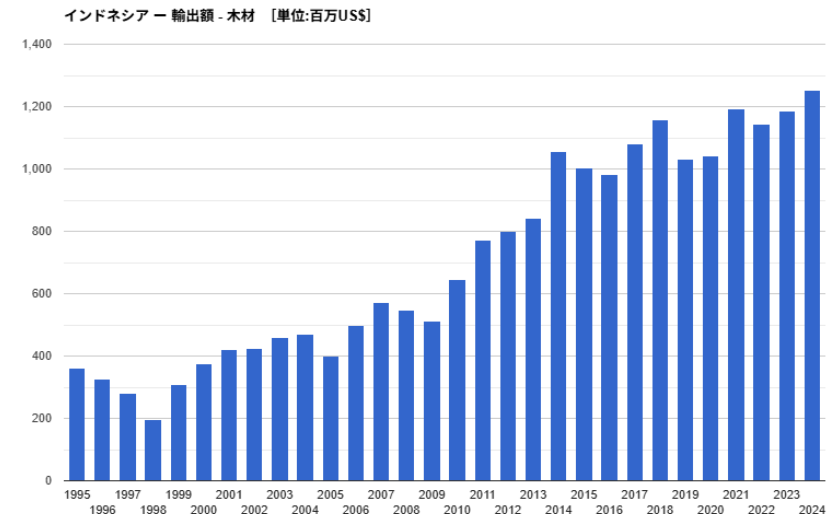




5. 木工加工製品



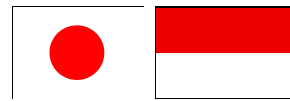
- 2025年のインドネシアからの木材製品の輸出高は、カナダ、米国、ロシア等に次いで**世界第15位**でした。
- インドネシア政府の規制で、丸太での輸出では不可能で、成型合板や家具などの加工された製品での輸出ですが、輸出高は年々増加しています。
- 家具用の樹種としては、チーク材、マホガニー、パイン材／ダッチチーク材、アカシア材、スンカイ材、トレンベシ材が主に使われます。
- 板材としては、合板、MDF(中密度繊維板)、パーティクルボードが調達出来ます。
- インドネシア製家具の特徴としては、チークのムク材を使った伝統的なものが挙げられます。



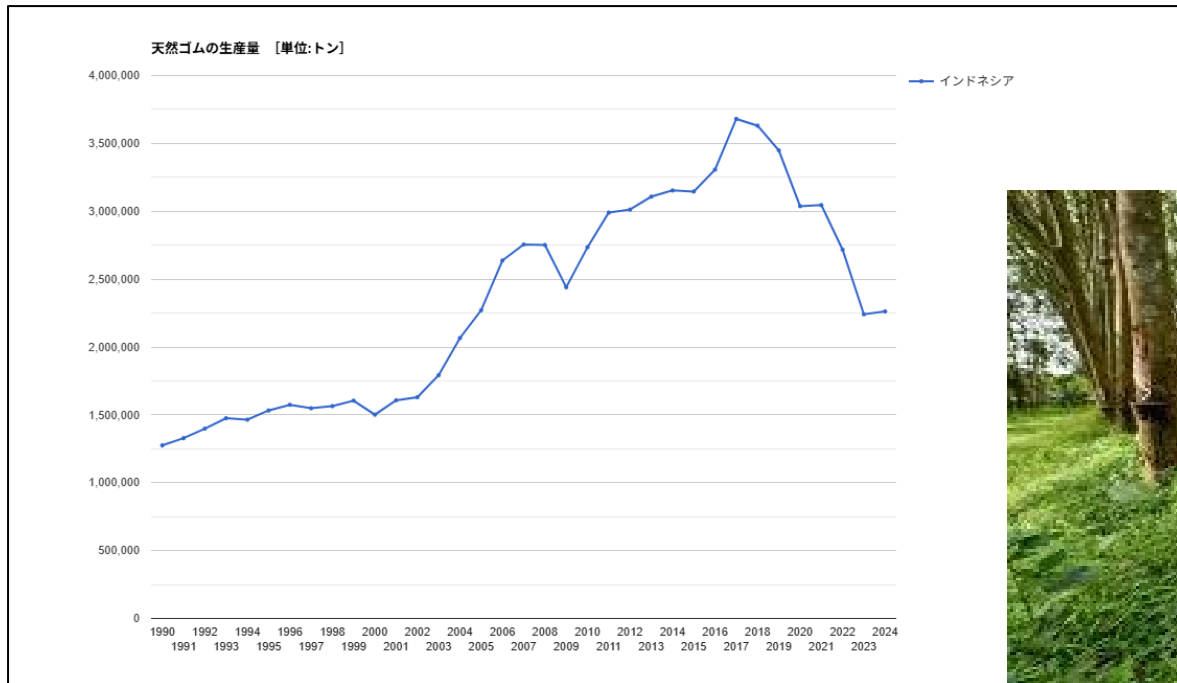
出典: UNCTAD



6. 天然ゴム製品



- 2024年のインドネシアの天然ゴム生産量は、タイに次いで**世界第2位**で、世界全体の15%を占めています。
- 天然ゴムは、ゴムの木の樹液から作られる、弾力性、強度、防水性に優れた素材です。
- 主な用途としては、自動車用タイヤ、エンジニアリング部品（ホース、シール、橋梁用ベアリング）、消費財（靴・サンダル、ボール）、医療用手袋、さらには発泡マットレスなどの家庭用品の製造などが挙げられます。

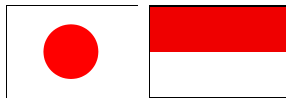


資料: GLOBAL NOTE 出典: FAO

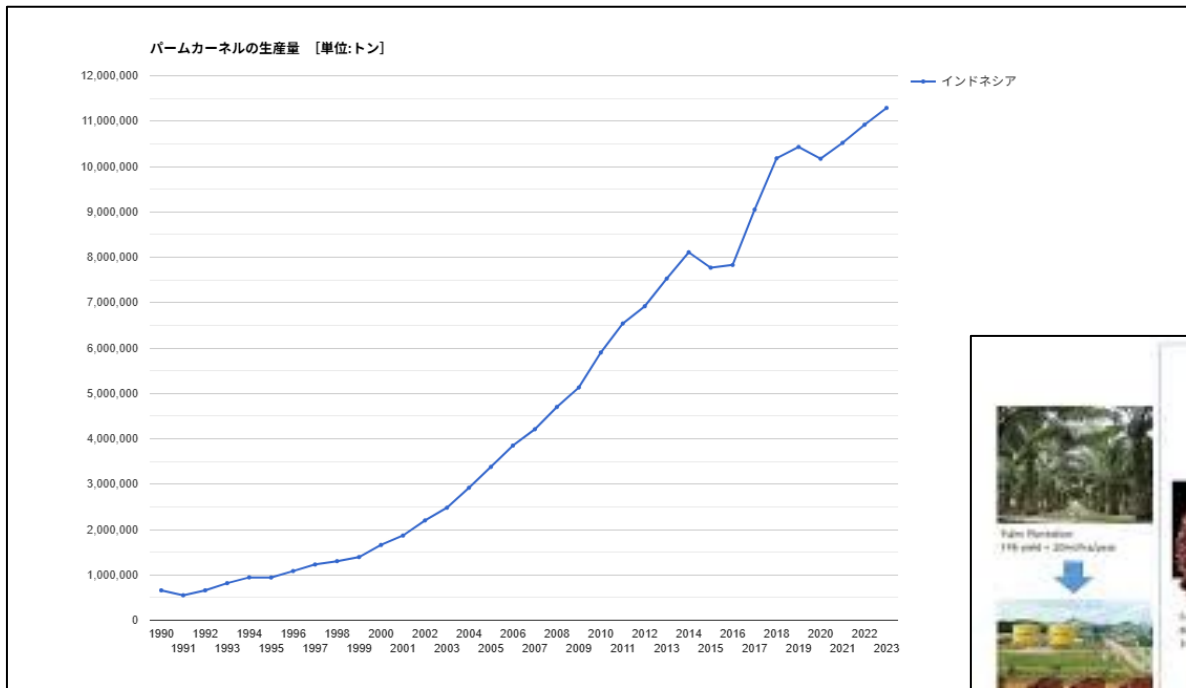




7. 椰子殻バイオ燃料



- 2023年のインドネシアのパーム油生産量は、世界第1位で、全世界の60%を占めています。
- それにより、椰子殻(パームカーネル)生産量も、**世界第1位**で、全世界の60%を占めています。
- 椰子殻(Palm Kernel Shell, PKS)は、アブラヤシの果実からパーム油を抽出した後に残る種子の殻で、かつては廃棄物として処理されていましたが、現在は高効率なバイオマス燃料や工業用原材料として広く活用されています。

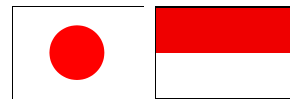


資料: GLOBAL NOTE 出典: FAO





8. 他島間のドローン輸送

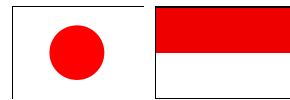


- インドネシアは東西5,000Km、南北3,000Kmにわたり広がる、17,000前後の島々からなり、それぞれの島の間は、主としてフェリーに頼っています。
- これに代わる輸送手段として、ドローンが利用可能であれば、大きな需要が見込まれます。
- しかし、現在インドネシアで販売されている民生用ドローンのほとんどは、中国製の部品を輸入して組み立てられた、近距離、軽量対応(25Kg以下)の製品です。
- 現在の法律では、荷重が25Kgを超えるものは飛行機扱いになりますが、ハイブリッドエンジン搭載などで、**長距離飛行が出来るドローン**の登場が待たれます。
- 他にも、石油・ガスの施設監視、地下資源採掘調査、建設現場での事前調査ならびに進捗状況監視、油椰子農園での自然環境監視、林業における薬剤散布ならびに環境保護監視、森林火災監視、配電網監視、土地計画などでの利用が見込めます。

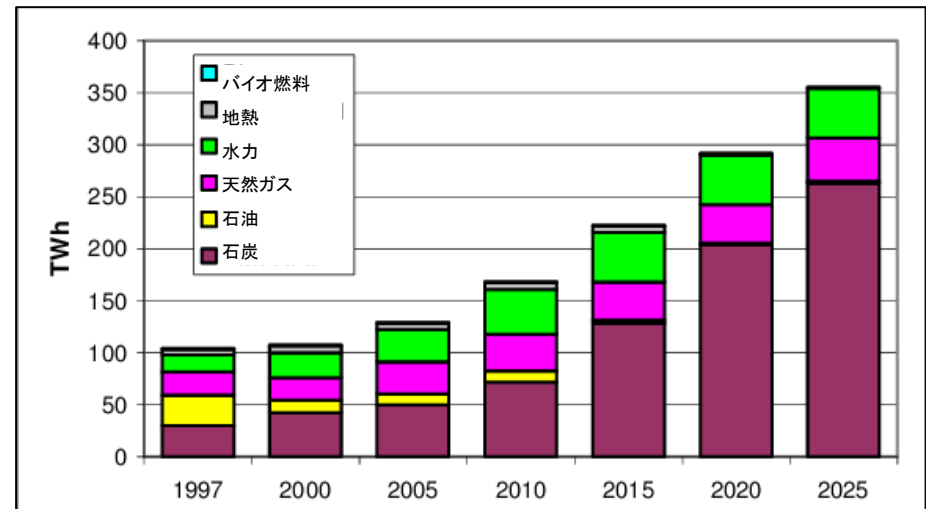




9. 発電エネルギー多元化

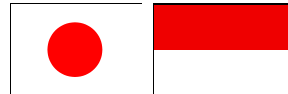


- インドネシアの発電は殆どを国産の石炭、天然ガスおよび水力で賄っています。
- 前述の椰子殻などのバイオ燃料や、太陽光、風力などの自然エネルギーも一部で利用されていますが、全体に占める割合は、ほんの僅かです。
- 原子力発電は調査研究の段階で、具体的に実用化される目途は立っていません。
- 国営電力会社PLNの電力需給は、なんとか遣り繰りされていますが、あまり余裕が無いため、時々計画停電が発生します。
- そのため、設備産業においては、別途、民間の電力会社と契約するか、あるいは社内にディーゼル発電設備を持っています。
- 日本では季節により日照時間が異なることや、冬季の降雪により、発電能力が低下あるいは停止するリスクがありますが、インドネシアは年間を通じて日照時間がほぼ同じ12時間で、降雪の可能性はありません。
- そのため、日中に多くの電力を消費する工場などにおいては、**太陽光による自家発電**を利用することも検討する価値があります。

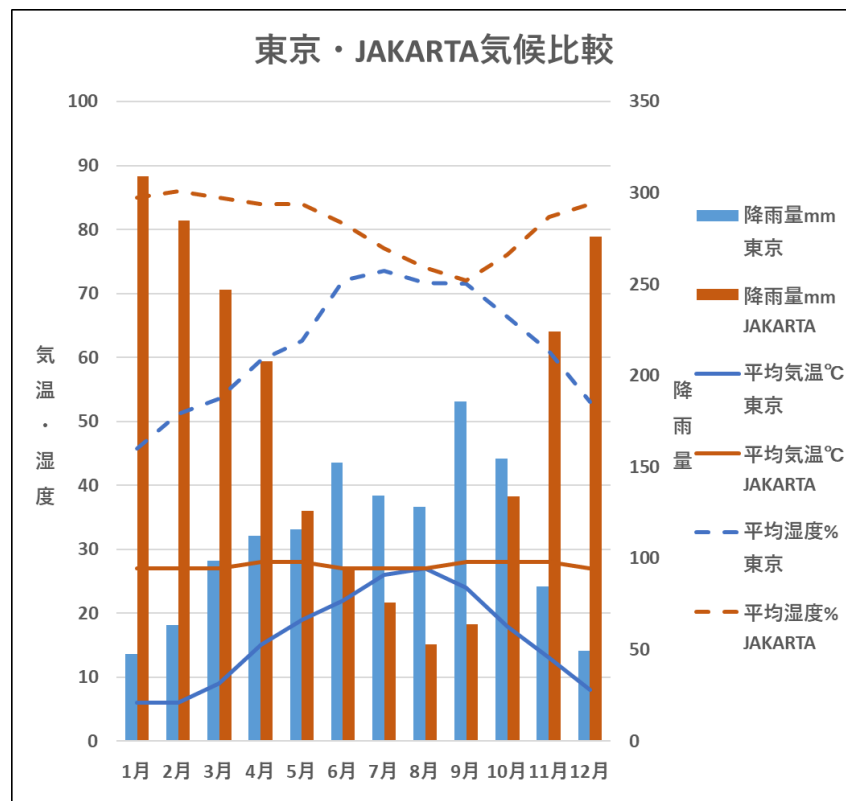


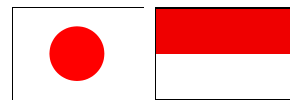


10.植物の通年栽培



- インドネシアは年間を通じて、気温、湿度、日照時間がほとんど変わりません。
- そのため、パパイア、バナナ、グアバ、オレンジ、スターフルーツ、ドラゴンフルーツなど、季節を問わず一年中実をつける植物があります。
- これらの植物は熱帯気候に適応しており、施肥や水やりなどの定期的な手入れをすれば、途切れることなく収穫出来ます。
- 近年では**日本の高級果物の栽培**に挑戦するケースも増えています。
- 米(水田稲)は、米の品種、水の供給量、使用される農業技術によって異なりますが、一般的には年に2~4回収穫できます。
- 一年を通して栽培できる野菜は、一般的に2つのカテゴリーに分けられ、2年以上生きる多年生野菜と、季節を問わず繰り返し植えることができる早生野菜です。
- インドネシアでは、熱帯気候のおかげで、水分さえ十分に供給されれば、多くの種類の葉物野菜やハーブが一年を通してよく育ちます。





[インドネシア進出サポート公式サイト](#)

インドネシア進出準備から撤退までの要点を簡潔にまとめたGoogleトップランキングサイトです

毎月1日発行のメルマガのバックナンバーも掲載しています

[インドネシア最新情報ブログ](#)

日本の普通のメディアでは報じられない情報を、独自のコメント付きで紹介しています

[インドネシア進出サポートウェブセミナー](#)

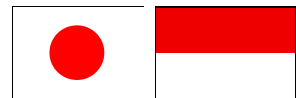
公式サイトに掲載されたセミナースライドを、音声解説付きでYoutube上にアップロードしています

インドネシア週刊ニュースダイジェストも毎週月曜日に発信しています

[インドネシア進出ハンドブック](#)

インドネシアでの事業展開に必要な知見と手続きを網羅したもので、随時更新されています

**愛する二つの祖国である、日本とインドネシアの発展のため、
全てのコンテンツは無料で公開しております**



**ご清聴ありがとうございました
ここからは質疑応答です**